

# 国際シンポジウム 2011

## 質保証と工学教育の国際標準 —ヨーロッパの例に学ぶ—

Quality Assurance and International Standards of Engineering Education  
— Case study on Practice in Europe —

日程 平成23年1月18日(火) 13:00~18:00  
会場 ホテルアソシア豊橋 5Fボールルーム

総司会：豊橋技術科学大学教授 竹市 力

13:00-13:10 開会・主催者挨拶：  
豊橋技術科学大学長 榊 佳之

13:10-13:50 Plenary Talk I  
Accreditation in Germany: approach and  
practice  
公益法人ドイツ教育課程認証評議会上級専門官  
Franz Börsch

13:50-14:30 Plenary Talk II  
Quality Labels in Chemistry in the European  
Higher Education Area  
ドレスデン工科大学名誉教授 Reiner Salzer

14:30-14:40 休憩

14:40-15:20 Plenary Talk III  
Quality Assurance in French Higher Education  
through “Grandes Ecoles”  
ボルドー大学 ENSEIRB 准教授 Stéphane Azzopardi

15:20-16:00 Plenary Talk IV  
Finnish higher education system and quality  
assurance  
東フィンランド大学長 Perttu Vartiainen

16:00-16:20 休憩

16:20-17:50 Panel Discussion  
進行：豊橋技術科学大学教授 梅本 実

17:50-18:00 閉会挨拶：豊橋技術科学大学副学長 神野 清勝

情報通信技術・運輸技術の発展に伴い、  
グローバル化の流れは様々な分野  
においてその速度を増しています。そのよ  
うな国際社会にあり、高等教育、特に工学  
教育による、高度な人材の養成と確保は最重  
要課題であります。

ヨーロッパは、ボローニャ宣言に基づき、  
英・米の教育システムを国際スタンダード  
として受け入れた点で日本と似た立場にあ  
ります。前世紀から世界をリードしている  
という自負があり、独立、独自性に重点を  
置く一方、世界的な人材獲得競争の中で、  
教育システムを比較可能な、質保証された  
ものへと改革を行ってきました。

本シンポジウムでは、こうしたヨーロッ  
パの実践例を中心に、今後の工学教育のあ  
り方を議論してまいります。

日英同時通訳付